



6/9 看板大掃除♪台風の汚れを一掃!

季節外れの台風2号などの影響で汚れた大型看板やその周辺を、株式会社アイム・ユニバースの社員がボランティアで清掃しました。

太陽の日差しが照りつける晴天のなか、大粒の汗を流しながら、業務用高压洗浄機や高所ブラシを使用し、丁寧に汚れを落としました。排気ガスや台風時の汚れもきれいに流され、まるでリニューアルされたかのように元の美しさを取り戻しました。

同社の社員は「浦添市の誇る2つの大きな施設の看板ですから、いつもきれいにしておきたいですね」と晴れやかに話していました。



6/6 グラウンド・ゴルフで広がる輪

台風が去り、晴れ晴れとした天気の中、浦添市老人クラブ連合会が主催する「第33回グラウンド・ゴルフ大会」が、ANA FIELD浦添(陸上競技場)で開かれました。

コロナの影響で昨年まで規模を縮小して開催していましたが、今年はそれぞれが感染対策をしながら、一堂に会して開くことができました。

比嘉愛子会長は「今日は久しぶりに全員揃ってのプレーです。優勝したいという気持ちも、もちろんあると思いますが、ぜひ楽しんでください」とあいさつし、参加した皆さんは交流を深めながら、日頃の成果を発揮できるよう元気なプレーを見せました。



5/25 ハーモニーセンター音楽室の利用再開!

ハーモニセンターの音楽室の利用が3年ぶりに再開され、陽明高校の友人同士で結成したバンド「PEAK」の皆さんが1番乗りで利用しました。

リーダーのRyuさんは「スタジオが使えるようになってとても嬉しい。バンドを組んだばかりなので、もっと練習してうまくなりたい」と嬉しそうに話しました。

ハーモニセンターの担当者は「第1音楽室は、ピアノが設置されていて、片面が鏡張りのため、演奏だけでなく踊りの練習もできます。また、第2音楽室にはドラムやアンプなどの音響機器があるので、バンドの練習に最適です。皆さんのご利用をお待ちしています」と話しました。

話題がいっぱい / なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで“なかゆくい”しませんか。(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



教育長が決定しました

めかる たけし 銘苅 健氏 (昭和33年生)

平成 24～25 年 浦添市教育委員会 指導部長
平成 26～27 年 浦添市立浦添小学校 校長
平成 28～29 年 浦添市立港川小学校 校長
平成 31～令和 4 年 学校法人みのり学園みのり幼稚園 園長

6月6日(火)に行われた、第205回浦添市議会定例会において議会の同意を得て、銘苅氏の教育長就任が決定しました。



6/12 国内最高峰のボウリング大会で優勝!

5月に埼玉県で開催された、NHK杯第56回全日本選抜ボウリング選手権大会で優勝した浦添市出身・在住の太琳華さん(ギノワングラブ所属)が、市長を表敬しました。

沖縄県勢の女子で、初優勝を果たした太さんは「国内ボウラー最高峰の大会で優勝することができ、とても嬉しい。今後は、来年のプロ試験合格を目指して頑張りたい」と意気込みを話しました。松本市長は「次はプロボウラーになって、ぜひまた嬉しい報告を聞きたい」と激励し、大会中に話題となった太さんの「Gポーズ」で一緒に記念撮影を行いました。



6/6 紙芝居「ステキ」を市内児童センターにお届け

一般社団法人ちむぐみと市が共同制作した、子ども向け紙芝居「ステキ」を、宮城ヶ原児童センターを含めた市内11か所の児童センターにお届けしました。

この紙芝居は、人権尊重の観点から「違いを認め合う」「相手を尊重する」をテーマに、自分らしさが大切であることを伝えるストーリーです。物語の原作者で、一般社団法人ちむぐみ代表理事の山内さんは「子どもたち一人一人が多様性を認め合い、互いに尊重することの大切さを考えるきっかけになるように、ぜひご活用ください」と、メッセージを送りました。



5/31 男児救った4人に感謝状

浦添市消防本部で消防表彰が行われ、個人4人と1事業所に感謝状が贈呈されました。

今年2月、浦添市西原の県道で、車がスーパーの駐車場から出て左折したところ、自転車に乗っていた男児が巻き込まれ下敷きになる事故が発生し、現場近くの給油所(株式会社りゅうせきライフサポート真栄原店)の従業員2人と、安次嶺夫妻が救出にあたり、男児は無事救助されました。

市内に住む、安次嶺智春さんは「あの場所は日頃から危ないと感じていました。私も小さな子どもがいるので、このような事件事故が起きないようにしてほしい」と再発防止を願いました。



5/31 学生と企業のより良い出会いのために

市内の新規卒者の雇用促進や、雇用環境の改善を図るため、那覇公共職業安定所の嶺井所長と浦添市の新垣副市長は、浦添商工会議所に学卒求人の採用枠確保と、求人票の早期提出を求める要請をしました。

要請書を受け取った浦添商工会議所の又吉会頭は、「企業にとっても“人”がいちばん大事である。人材をしっかりと採用して育てていくことが、企業の発展につながっていくと思っている。学生と企業とのミスマッチを防ぐために、求人の早期提出を積極的に進めていきたい」と述べました。このあと両者の意見交換会が行われ、3年以内の離職率の高さなど、現状の課題解決に向けて話し合いが行われました。